



ニュースレター

発行 狭山市国際交流協会

242号
2019/3

第22回 にほんご発表会

2月3日(日)14:00から中央公民館第2ホールで、にほんご発表会と交流会が開催されました。この会は、狭山市国際交流協会が主催する日本語教室で日本語を学ぶ狭山市在住・在勤の外国人が学習の成果を発表する機会となっています。

粕谷会長の挨拶に始まり、今回は小谷野市長も駆けつけ、出番を控えて緊張気味の外国人のみなさんに「このにほんご発表会がみなさんの母国と日本のよい架け橋となるように。発表者のみなさんも落ち着いて、ありのままのスピーチをしてください。私も人前で話すのが苦手です。ですから話を聴くみなさんもぜひ聞き上手でいてあげてください。」と会場の緊張をほぐす言葉をかけてくれました。司会は広瀬教室スタッフの嶋崎泰介さんとベトナム出身のビ・ヴァン・バーさんです。発表者5ヶ国17名を含む総勢82名が参加しました。



発表者の皆さん



劉靖之さん



ドコン・ソーさん



ニカ・リーンさん



齋藤スパポーンさん



ファム・スアン・トアイさん



フランキー・ラファティさん



山岡カンヤナットさん



チュウ・ティ・キュ・フーンさん



ヤー・ジャイさん



ルオン・ティバン・ゴックさん



黒澤姉さん・美姫ちゃん



ファム・ゴック・サンさん



梅木チョンラダーさん



ビ・ヴァン・バーさん



ウッタラデット・ピーラナツさん



アン・パウオソルーツ・クリティカさん



岡村理亜鈴さん

全員の発表の後、狭山市教育委員会教育センター今福雅之指導主事より発表者一人ひとりに感想をいただきました。

続いて第二部の交流会は、火曜日教室の川口さんの司会進行により、お茶やジュースで乾杯。おいしいお菓子をつまみながらみんなで楽しく歓談。この日はちょうど節分、日本での節分の風習を外国人のみなさんに説明し、みんなで福を呼び込むよう「鬼は～そと。福は～うち」と豆まきの掛け声をしてお開きとなりました。

広報部会 吉沼実理 記

発表者の詳しいスピーチはホームページをご覧ください

中国家庭料理

2月23日（土）新狭山公民館の調理実習室で開催されました。

講師は、中国北部に位置する大連出身の黒澤 姉（くろさわ てい）さん、伊 琴らん（いちらん）さん のお2人でした。中国大陸は広く、地方によって、食べ物に大きな違いがあり、大連の料理は一般的な中国料理とは一味違ったものでした。

参加者は、会員11名、非会員5名 子供たちも3名ほど参加してくれました。

最初の料理は、小麦粉に塩、湯、水、油を混ぜ、30分寝かせ、クレープ風の春餅（しゅんぴん）を作り、2種類の具材を中に巻いて食べる料理です。具材の一つは、木須肉（むしーろー）一豚肉・きくらげ・人参・胡瓜・卵を、ニンニク・ネギと炒め合わせたものでした。もう一つは、肉炒土豆絲（ろーちゃおとぅどーすー）一豚肉に下味をつけ、千切りのジャガイモと炒め合わせたものでした。

もう一品は夢ト絲粉絲湯（るおぼすーふえんすーたん）一大根と春雨とあさりのスープでした。シンプルな具材ですが、変わり春巻きにピッタリでした。好吃！美味しい！

広報部会 角田栄子 記

キクラゲ、豚肉と卵の炒めた物

春餅

豚肉とジャガイモを炒めたもの

大根、春雨とあさりのスープ



左 伊さん・右 黒澤さん

「英語で学ぶ国際理解」 第2回英語セミナー



2月17日(日)に狭山市産業労働センターで、イギリス人の Thomas A. Russell 先生をお招きし、第2回英語セミナー「英語で学ぶ国際理解」が開催され、予想を大幅に上回る73名が参加しました。

講師の Russell 先生は現在24歳。一昨年の8月に初来日し、県立狭山経済高校でALT(外国語指導助手)教員をなさっています。第一部の最

初に Russell 先生の自己紹介とご自身のイギリスでの生活、そしてイギリスの社会と文化についてお話になりました。

次に「日英の文化の違い」というテーマで蕎麦を食べるとき、「ズルズル」と音を立てて食べるのに慣れるのに苦労をしたお話や労働時間(残業)に対する考えの違いについて話されました。また、極力目立たず、

独創的な考えをあまり出さない日本人の「集団志向」と、幼少期から個性を發揮し、自己をPRするように教育されてきたイギリス人の「個人志向」について、示唆に富んだお話をいただきました。その後のQ&Aでは、イギリスのEU離脱問題(Brix it)など、多岐にわたる英語での質問が次々と出され、活発で楽しい質疑応答が繰り広げられました。

休憩後の後半の第二部では、最初に、狭山市や埼玉県を訪れる外国人に対し、狭山や埼玉県で、訪問客に是非訪れていただきたい場所についてお話になりました。狭山市関連では茶畑にお連れ

することや、四季折々のイベントへの参加、入間川の散策、そして昔ながらの居酒屋にお連れすること、などの興味深いお話がありました。

最後に、先生の故郷のイギリス南部海岸の Bournemouth を旅



行者に紹介する文例を参考に、狭山を含めた参加者自身の故郷を外国人旅行者に紹介する文を参加者に作文していただきました。参加者の故郷を Russell 先生に紹介する方を募って発表していただき、それぞれの発表に対しての先生との英語会話が閉会時間のギリギリまで次々と繰り広げられました。先生の明るく真摯なお人柄に惹きつけられて、楽しくも多くのことを学ぶことの出来たセミナーとなりました。

ワージントン市交流部会部会長 安富成良 記

S I F A 定期総会のお知らせ

日時……平成31年5月11日(土) 総会開始 14:00 (受付 13:30~)

場所……中央公民館 第1ホール

日本語ボランティア研修会



2月16日(土)新狭山公民館で開かれました。

講師はいつもお願いしているAJALTの松尾恭子先生とペルー出身の若本ルシアさんです。ルシアさんは狭山では初めての方でした。最初にルシアさんから来日当初の事、今知りたい事などの経験に基づいた



お話がありました。ルシアさんのお話はユーモアたっぷりで、日本語ボランティアにはとても参考になるお話でした。松尾先生はテーマに沿って、日本語が話せない人に対して、教科書の日本語よりも日常的に実際に使っているシンプルな日本語で教えることが大事と話されました。実践として食べ物の写真のカードを使って物の名前だけを教える練習をしました。限られた時間の中で楽しく学ぶことができ、とても有意義な時間になりました。

広報部会 小池律子 記

「陳式小架太極拳演武と二胡演奏会」

2018年11月25日(日)杭州市交流部会主催により「陳式小架太極拳演武と二胡演奏会」を開催しました。会場の新狭山公民館ホールには約30名の熱心な来場者が詰めかけま



した。

SIFAではお馴染みの陳開墟(ちんかいしゅう)



さんとその生徒さんのグループ、シーズン会と恵み会の皆さん、そして陳さんの夫、高一明

さんと友人の乃田晴美さんなど総勢7名の皆さんが参加してくれました。高さん、乃田さん、そして陳さんの3人による二胡のミニコンサートが始まりました。今回は二胡の演奏に合わせて「里の秋」・「蘇州夜曲」・「北国の春」・「ふるさと」の4曲を歌いました。皆さん楽しそうに大いに盛り上がっていました。その後太極拳演武の「太極拳双扇(二人が扇で戦う)」、そして陳開墟先生お一人の「陳式太極拳演武」と続き、最後に参加された皆さんも「太極拳挨拶とその意味」「太極拳基本動作」を体験し、終了しました。杭州市部会 草野喜実勝 記

★問合せ・申込み：狭山市国際交流協会・事務局

(狭山市役所 2F 市民文化課内)

〒350-1380 埼玉県狭山市入間川1-23-5

・Tel / Fax : 04-2952-4584

(月・火・木・金 9:00~16:00、水・土・日・祝日は休み)

・E-mail : sifa2@nifty.com

・ホームページ : <http://sifa.information.jp/>

又は、[狭山市国際交流協会](#) ←検索 クリック

編集後記

今年は暖冬で、桜の開花は例年より早やそうです。桜と共に春を心待ちにしている方も多い事でしょう。今号は今期最後のニュースレターとなりました。来期は広報部一同、心待ちにして頂けるような紙面を目指します。どうぞよろしくお祈りします。